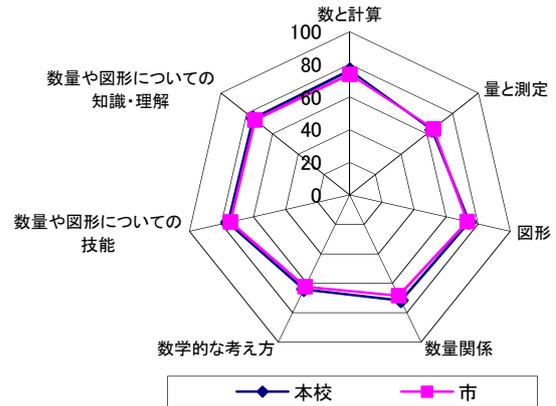


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	76.3	73.9
	量と測定	64.0	65.0
	図形	74.4	73.2
	数量関係	71.8	68.5
観点別	数学的な考え方	64.1	62.4
	数量や図形についての技能	75.9	74.4
	数量や図形についての知識・理解	75.0	73.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 分数の加法, 小数の乗法(乗数が整数), 偶数・奇数は正答率も高く, 理解が見られた。しかし, 分数の減法, 小数の除法では, 立式, 余りのある計算, 文章題での記述問題につまずきが見られ, 特に分数と小数の大小を比べる問題では, 正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数や小数の計算問題については, 通分の仕方や小数点の動かし方などの復習をしたり, 計算の仕方をていねいに確認したりして問題練習に繰り返し取り組ませる。 文章題を扱う際には, 問題場面を図や数直線で表すなど, 問題場面を把握しやすくして抵抗感を無くしていくとともに, 様々な場面の文章題を解くことで習熟を図る。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 展開図から直方体の体積を求めたり, 平均を求める問題では, 正答率が約64%で市の平均を4ポイント下回った。また, 問題の場面を理解し, 単位量当たりの考え方を使って, 問題を解く記述式の問題では, 正答率が低く42.7%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 立体の見方に慣れさせたり, 体積を求める公式をしつかりと覚えさせたりする。また, 公式を使って確実に計算し, 体積や平均を求められるように復習させる。 単位量当たりの大きさの概念を図や表を使って理解させ, 記述式の問題にも取り組んで復習させる。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角の和を求めたり, 合同な図形の性質を問う問題では, よく理解しており正答率が高かった。しかし, 立方体の辺の関係や垂直な面を求めるでは, 誤答が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 立方体の展開図から垂直な辺や面の関係について, 整理して復習させるとともに, 習熟を図るために練習問題を多く行う。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量の関係を式に表す問題では, 市の平均を5ポイント上回り, 計算のきまりを小数へ拡張する問題でも, 市の平均を2ポイント上回っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる量については, 表の見方や単位量となる数の読み取り方などの復習を繰り返し, さらに理解を深めていく。 計算のきまりについては, 分配法則について, 再度復習させる。また, 整数だけでなく小数を使った問題についても理解させ, 数多くの問題を解かせることで, 更なる定着を図っていく。